

序章 はじめに

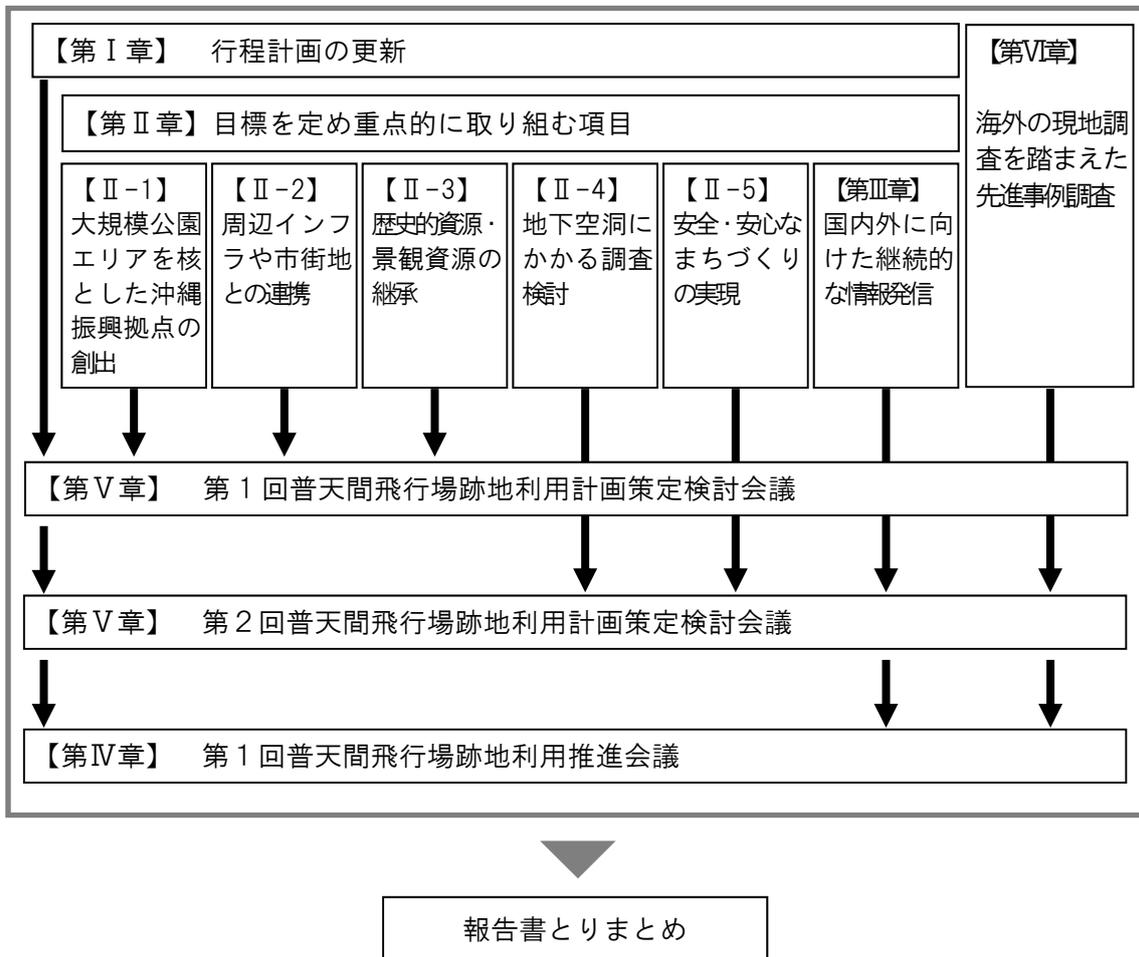
(1) 業務の目的

本業務は、令和4年度に作成した「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」及び「行程計画の見直し検討」を基に、「行程計画の更新及び実行」を支援するとともに、実行においては、同行程計画における「目標を定め重点的に取り組む事項」について計画検討の深化を図る。

また、計画内容の具体化に向けた継続的な取組を基に、「合意形成の促進及び県内外に向けた情報発信」を実施し、普天間飛行場跡地利用の気運醸成を図る。

なお、本業務の実施にあたっては、内閣府における駐留軍用地跡地利用に係る取組や特に、沖縄県が実施する「普天間飛行場跡地（仮称）普天間公園等検討調査業務」と連携した上で検討を行う。

《業務フロー》



(2) これまでの検討経緯

① 普天間飛行場跡地の検討体系

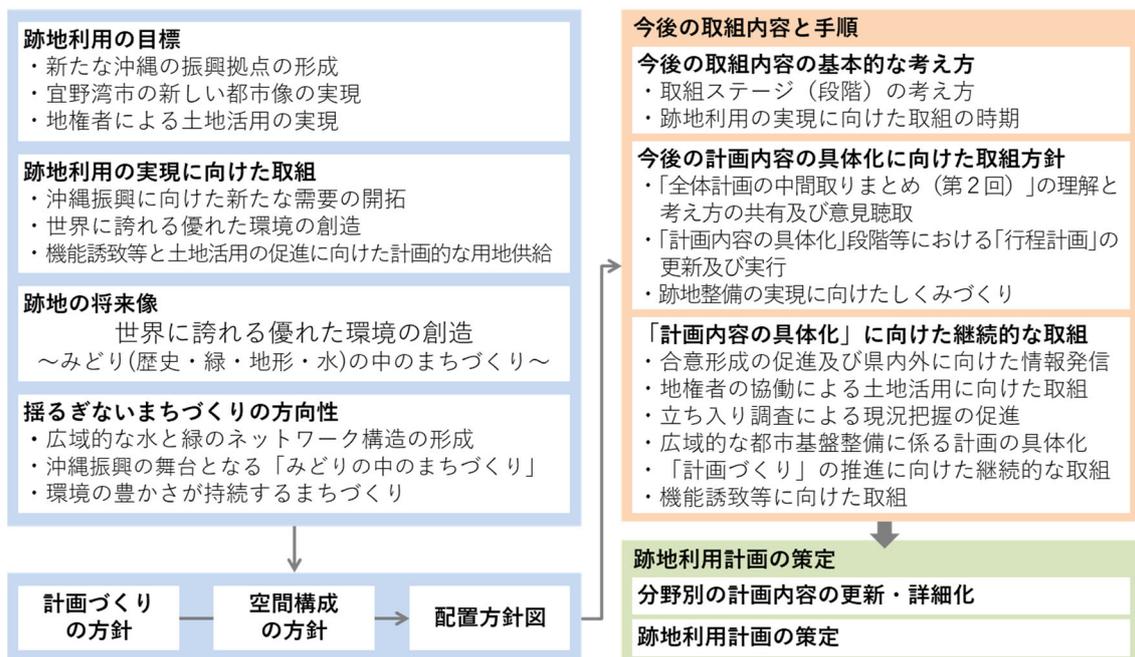
普天間飛行場跡地利用計画策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」（令和4年7月）では、今後予定されている跡地利用計画の策定に向けて「今後の取組内容と手順」が示されている。

令和5年度業務では、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」に示された方針に基づき、跡地利用計画の策定に向けた行程計画の更新及び計画検討の深化に向けた取組を進めるとともに、合意形成の促進及び県内外に向けた情報発信を行う段階にある。

■ 普天間飛行場跡地の体系

《 普天間飛行場跡地の目標・方針 》

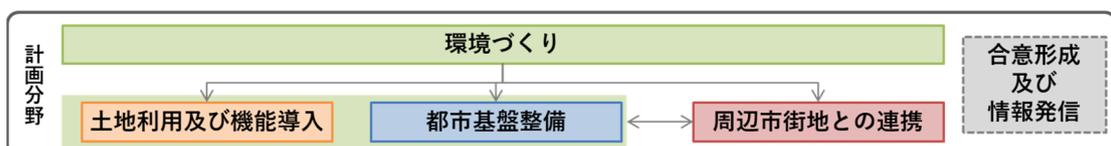
《 跡地利用計画の策定に向けた取組内容 》



【参考】「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」（令和4年7月）の概要

「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」や「広域構想」等の広域計画、「行動計画」に基づき進められてきた関連調査等による分野別の計画内容の検討成果を踏まえ、計画づくりの方針を示している。また、目標とする跡地利用の姿をわかりやすく表すため、空間構成の方針(要素別の配置方針)を取りまとめ、要素別の配置方針を重ね合わせて、配置方針図を作成している。

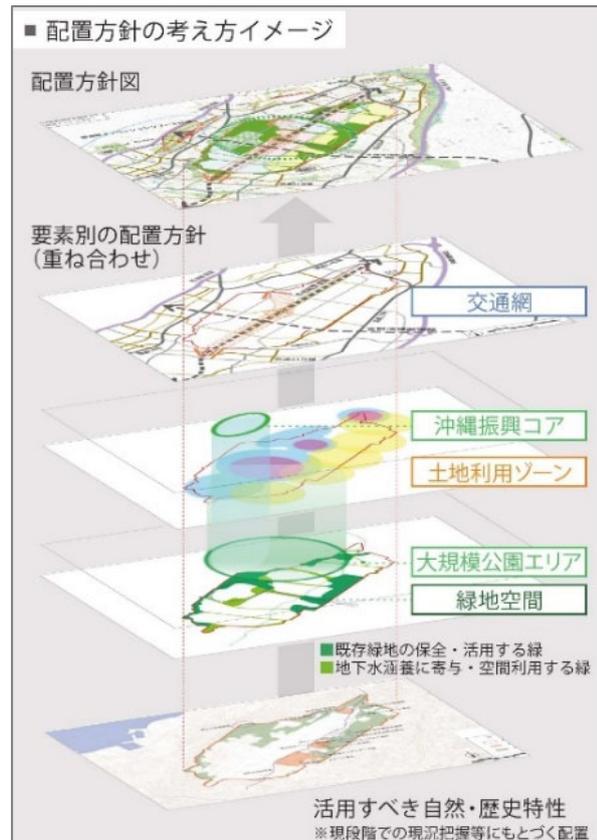
ア) 計画づくりの方針



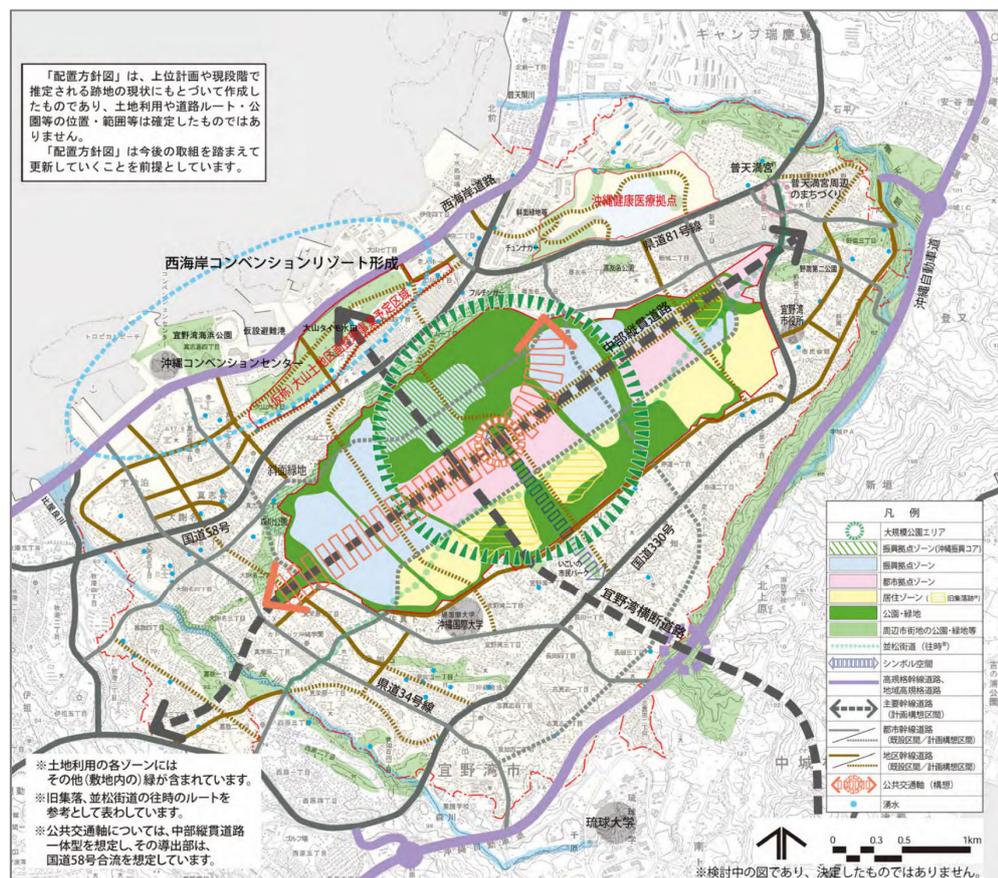
1)空間構成の方針

<要素別の配置方針>

- ・ 緑地空間配置
- ・ 土地利用ゾーン配置
- ・ 交通網配置



<配置方針図>

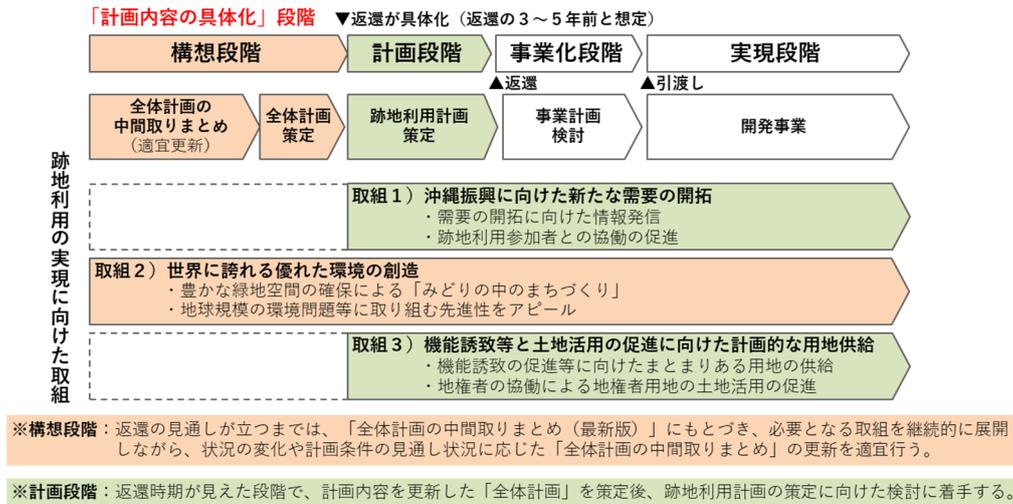


②今後の取組内容の基本的な考え方

全体計画の中間取りまとめ（第2回）では、跡地利用計画の策定に向けた「計画内容の具体化」段階の考え方を整理し「跡地利用の実現に向けた取組」の取組時期を明確化した。

令和5年度業務を実施するにあたり、「世界に誇れる優れた環境の創造」の取組時期を「構想段階」からとし、「沖縄振興に向けた新たな需要の開拓」及び「機能誘致等と土地活用の促進に向けた計画的な用地供給」の取組時期は「計画段階」とする考え方を踏まえて令和5年度業務を実施した。

■取組ステージ（段階）の考え方及び跡地利用の実現に向けた取組の時期



③行程計画の策定・見直し経過

■行程計画（案）の策定（平成25年度）

「跡地利用計画（素案）」を作成するまでの手順並びに進め方となる「行程計画（案）」を策定した。

■行程計画（案）の見直し（平成27年度）

これまでの検討や環境の変化を踏まえ、行程計画（案）の見直しを行った。

<見直しポイント>

- ・平成26年度より本格的に実施を予定していた基地内立入調査に対する制限等の影響
- ・都市基盤整備の検討時期等の見直し

■行程計画（案）の更新（令和元年度）

行程計画（案）の策定以降、社会状況の変化に対応するため、行程計画（更新案）を作成した。

<主な状況の変化等>

- ・返還等の見直し
- ・計画内容の具体化に係る進捗
- ・社会経済動向の変化

■行程計画の見直し検討（令和4年度）

検討の深化を緩めないための目標を設定し、返還時期が確定するまでの時間を有効に活用することを念頭に行程計画の見直しの検討を行った。

年度	概要	行程計画（案）の計画期間	跡地利用計画(素案)の策定期間
2013(H25)	行程計画(案)の策定 ※有識者検討委員会で確認	2013(H25) ～ 2017(H29)	2016(H28)
2015(H27)	行程計画(案)の見直し ※全体会議で確認	2014(H26) ～ 2018(H30)	2017(H29)
2019(R1)	行程計画(案)の更新 ※有識者検討会議で確認	2019(R1) ～ 2022(R4)	2021(R3)
2022(R4)	行程計画の見直し検討 ※有識者へ意見聴取	2023(R5) ～ 2029(R11)	全体計画 2027(R9) 跡地利用計画 2028(R10)-2029(R11)

(3) 「行程計画」の更新に向けた検討

今後の計画づくりに反映すべき事項への対応を含めて、取組の内容・体制を再確認した上で、今後の取組のロードマップである「行程計画」を更新した。

① 「行程計画」の更新

令和4年度の検討を踏まえ、今後の取組内容の特性等を整理した上で、行程計画の更新を行った。

- ・ 行程計画の見直し方針（目標設定、見直し手順）
- ・ 行程計画の見直しの検討（検討の深化の到達点、検討の手順）
- ・ 行程計画（令和5年度更新版）の作成

② 「行程計画」にもとづく取組の継続（目標を定め重点的に取り組む項目に関する検討）

行程計画の更新と並行し、令和4年度時点の行程計画で示された取組を踏まえ、以下の検討等を行った。

ア) 大規模公園エリアを核とした沖縄振興拠点の創出

- a. 振興拠点における戦略的な拠点形成手法の検討
- b. 公共施設の導入可能性の検討
- c. 大規模開発に導入可能な最先端技術の検討
- d. 緑空間の整備イメージの検討
- e. 大規模公園エリア整備の方向性の検討
- f. 事業スキーム・官民連携手法の検討

イ) 周辺インフラや市街地との連携

- a. 交通施設整備に係る上位関連計画等との整合・連携
- b. 周辺市街地整備との連携に向けた周辺インフラの現状把握と課題整理

ウ) 歴史的資源・景観資源の継承

- a. 基地内植生、歴史・景観資源の把握

エ) 地下空洞に係る調査検討

- a. 琉球石灰岩の取扱いに係る情報収集

オ) 安全・安心なまちづくりの実現

- a. 広域的見地からの跡地利用計画における広域防災のあり方の検討
- b. 地域防災力の強化に向けた公共公益施設の再編・更新検討

カ) 国内外に向けた継続的な情報発信

- a. バーチャル普天間未来シティの拡充
- b. 教育と連携した情報発信方策の検討

③「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の理解と考え方の共有及び意見聴取

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」に対する跡地利用関係者との間で、計画への理解と考え方を共有していくとともに、様々な周知や意見交換の場を通じて、今後の計画づくりに参考、反映すべき事項を継続的に整理した。

ア) 合意形成・情報発信に係る検討

- ・ 普天間飛行場を身近に触れる・考える機会を確保し、将来の普天間飛行場跡地で活動・活躍する人材の育成を目的とし、関係者へのヒアリングを踏まえ、教育と連携した意識醸成を図るしくみづくりの検討を行った。
- ・ 普天間飛行場の跡地利用に向けた取組を広く情報発信し、意見聴取を図るため、バーチャル普天間未来シティの拡充などによるホームページコンテンツの整備更新、県内向けイベントの開催を行った。
- ・ 継続的な地権者等との様々な周知や意見交換の場として、令和5年度地権者意見交換会の企画・開催を行った。

イ) 検討会議・推進会議の開催

- ・ 計画内容の具体化に向けた検討を行うことを目的に、検討会議（2回）を開催した。
- ・ 計画への理解促進や考え方の共有化を図り、幅広く意見聴取を行うとともに、跡地利用に関する気運醸成に繋げるため、推進会議（1回）を開催した。

④跡地整備の実現に向けたしくみづくり

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」に掲げる跡地の将来像の実現に向け、跡地整備に関するスキーム（しくみ）を検討した上で、跡地整備の実現可能性から見た課題を抽出し、今後の取組に反映すべき事項を整理した。

ア) 跡地の将来像の実現に向けた跡地整備に関するスキーム（しくみ）の検討・課題整理

- ・ 令和5年度に更新する行程計画に、跡地の将来像実現に向けたスキーム（しくみ）を検討や跡地整備の実現可能性にかかる課題抽出、今後の取組への反映事項の整理を盛り込むこととした。

(4) 令和5年度業務の検討スケジュール

今年度業務の検討項目としては、以下の内容とした。

- (1) 「行程計画」の更新の支援
- (2) 計画分野別の取組内容における「目標を定め重点的に取り組む項目」についての計画検討の深化
- (3) 合意形成の促進及び県内外に向けた情報発信
- (4) 普天間飛行場跡地利用推進会議の開催補助
- (5) 普天間飛行場跡地利用計画策定検討会議の開催補助
- (6) 海外の現地調査を踏まえた先進事例調査

各項目の検討スケジュールについては、検討会議及び推進会議の開催経過に併せて、議案提示による検討内容への意見を受けながら、それぞれの項目の検討内容の深化を進めた。

≪検討スケジュール≫

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行程計画の更新	行程計画の見直し方針・見直しの検討					行程計画の更新(案)			行程計画の更新	
目標を定め重点的に取り組む項目	大規模公園エリアを核とした沖縄振興拠点の創出 最先端技術・先進事例収集 大規模緑空間事例収集					報告等	導入機能に係る検討			
	周辺インフラや市街地との連携 現況インフラ処理能力の把握及び課題整理 発生集中交通量の算定・将来交通量の推計						実現方策に係る検討			
	歴史的資源・景観資源の継承 取組課題の整理、情報収集等						追加導入すべき必要施策の検討			
	地下空洞にかかる調査検討 既存資料の調査・琉球石灰岩層の情報収集						調査の可能性の検討、ネイチャーポジティブ達成の検証づくり	周辺市街地との連携方策の検討		
	安全・安心なまちづくりの実現 周辺地域の防災機能・規模の調査						重要資源の保全、緑地確保量の積増策の検討	資源等の継承・活用方策の検討・人材育成手法等		
	国内外に向けた継続的な情報発信 コンテンツの拡充(HP、バーチャル普天間未来シティ等)						事例調査・ヒアリング等			
	海外の現地調査を踏まえた先進事例調査 候補地選定						調査概要	調査結果整理		
検討会議				行程計画の見直し方針 各項目の検討経過					取組状況等の報告	
推進会議						行程計画の更新(案) 令和5年度の検討まとめ				